

# 正解ゲーム

## 登場人物

綾瀬 滯（13 、29） 会社員

白石 詩（13 、29） 滯の元同級生

綾瀬 雄介（31） 滯の夫

綾瀬 菜々（6） 滯の娘

黒川 真央（13） 滯の元同級生

早坂 莉子（13） 滯の元同級生

西野 優花（13） 滯の元同級生

## INT. 中学校・家庭科室 - 放課後

綾瀬滯（みお・13）、白石詩（うた・13）、黒川真央（13）、早坂莉子（13）、西野優花（13）の姿がある。

詩が一同に囲まれ、うつむいている。

滯だけが、少し離れた場所に立っている。

真央

このあと詩はどうするでしょーか？！

莉子が元気よく手をあげる。

莉子

はい！

真央

莉子。

莉子

激辛カレーを食べる！

真央は一拍置く。

真央

違うなー。

優花

はい！

真央

優花。

優花は室内のバケツと、汚れた雑巾をチラリと見る。

優花

雑巾を食べる。

一瞬の沈黙。

真央

……正解。

莉子、優花が笑い声をあげる。

詩はうつむいたまま、微動だにしない。

真央（詩へ）

正解をどうぞ！

詩は動けない。

莉子

おら！ 早く正解シーン見せろよ！

詩は震えながらバケツの前へ歩み寄る。

逆らえず、雑巾を手に取り、口にくわえる。

優花

きたなっ。

優花が嘲笑う。

滯はその光景を、戸惑いながら見つめている。

真央（滯を見て）

滯。

真央は滯の心を見透かしたような笑みを浮かべる。

真央

このあと詩はどうするでしょう？

滯はうつむき、黙り込む。

滯が詩を見ると、詩は助けを乞うような瞳で滯を見つめ返してくる。

莉子

どした滯？ 答えなよ。

滯（ぽつりと）

……バケツの……水を……飲む。

沈黙。

真央

……正解。

一同がどっと笑い転げる。

詩は諦めたように、バケツに顔を突っ込み、水を飲む。

滯は何もできず、ただうつむく。

EXT. 滯のマンション・外観 - 朝

テロップ「16年後」

INT. 滯のマンション・玄関

滯（29）が慌ただしく仕事の支度をしている。

夫の雄介（31）はパジャマ姿でのんびりとしている。

滯

雄介。私、今日遅くなるから、菜々の迎えお願いしていい？

雄介

わかった。

娘の菜々（6）が幼稚園の制服を着て現れる。

滯（急かして）

ほら。急がないと。遅刻しちゃうよ。

菜々は愛犬のタロウの頭を撫でる。

菜々

タロウ。いい子にしてるんだよ。

滯と菜々が靴を履く。

雄介（Vo）

滯！

漣が振り向く。

雄介が菜々の弁当箱を掲げている。

雄介

弁当、忘れてる。

漣（頷き）

ってきます。

INT. 漣の職場

デスクで仕事に打ち込む漣。

INT. 漣のマンション・玄関 - 夜

漣が帰宅する。

タロウが出迎える。

玄関には見知らぬ女の靴が置かれている。

漣

……？

INT. 滯のマンション・リビング - 夜

滯が入ってくる。

食卓には詩（29）が座っている。

雄介は微かに戸惑いながら迎える。

雄介

ああ。おかえり。

滯（詩を見て）

……どなた？

雄介

滯の学生時代のお友達だって。

詩（明るく）

ひさしぶり！

滯

……？

詩

私だよ、私。ほら。中学んとき一緒だった。

滯の顔が俄に曇る。

詩

嘘？ 覚えてない？

滯

……詩？

詩

正解！

滯

……。

詩

滯の家ここらへんだって聞いて、急にゴメンだけど、懐かしくなって遊びにき  
ちゃった。

滯（動揺を隠せず）

そ、そうなんだ……。

詩

あ、これ、お土産。

詩が菓子折りを差し出す。

そこへ菜々が駆け寄ってくる。

菜々

ママ！ おかえり！

滯

……ただいま。

菜々（詩へ）

ねー、早くゲーム！

滯

……？

菜々

ママのお友だちがね、ママが帰ってきたら、みんなでゲームしようって！

詩

そうだね。菜々ちゃん。滯もそろったことだし、じゃ、みんなでゲームしようか。

菜々

どんなゲーム？

詩（思わせぶりに）

とっても楽しいゲーム。

菜々

とっても？

詩

うん。中学生の頃ね、菜々ちゃんのママとたっくさんやったゲーム。

滢の顔がひきつる。

詩

滢。懐かしくない？

滢

……。

詩

菜々ちゃんは初めてだから、ルール説明するね。

菜々はワクワクして聞き入る。

詩

ルールは簡単。出題者が出したクイズに解答者が答えるだけ。

菜々

それだけ？

詩

うん。試しにやってみようか。私がクイズを出す役で、菜々ちゃんがクイズに答える役。

菜々

うん。

詩

じゃあクイズ。このあと私は何をするのでしょうか？

滯の血の気が引いていく。

菜々

えー、そんなのわかんないよ。

詩

そう。わからないよね。だから、ここにいるみんながいちばん楽しめる答えを  
菜々ちゃんが考えるの。

菜々

菜々が？

詩

そう。

菜々（考えて）

ゴリラの真似をする！

一瞬の沈黙。

詩

正解！

詩が菜々に向かってゴリラの真似をする。

菜々が笑い転げる。

詩

じゃ、本番。私が出題者やるから、菜々ちゃんたちは、解答者やってくれる？

菜々

はい！

詩

じゃあクイズ。

詩は滯をチラリと見る。

詩

このあと滯は何をするでしょうか？

滯

……。

菜々

ゴリラの真似する！

詩（笑って）

うーん。どうかな？

滯はすっかり青ざめた顔で立ち尽くしている。

その様子を見て、雄介も異変を察する。

雄介（滯へ）

おい。

滯（雄介へ）

ちょっと。

INT. 同・廊下 - 夜

滯と雄介がリビングから出て、密談する。

雄介

どうしたんだ？ さっきから様子が変わだぞ。

滯

……。

雄介

やっぱりまずかったか？

滯（思わず声を荒げる）

まずかったって。なんで知らない人を家にあげたりなんかするの？

雄介

いや、だって滯の小学生時代からの親友だっていうから。菜々を見るなりママの小学生のときにそっくりだって。

雄介がリビングを覗き、詩を見る。

雄介

ちがうのか？

滯

……しばらく二人きりになりたいから、雄介は菜々を連れて出てって。

雄介（心配して）

滯。大丈夫か？

滯は答えず、リビングへ戻る。

INT. 同・リビング - 夜

詩の前に立つ滯。

滯

……詩。あなたと二人きりで話がしたい。

詩

え。でも、ちょっと待って。もうゲームは始めてしまったし。

雄介

すみません。ちょっと用事ができたので娘を連れて出かけます。菜々！

菜々

えー！

雄介が菜々の手を強引に引く。

詩

……まあ、いいけど。

詩は立ち去ろうとする雄介に声をかける。

詩

その選択が、あなたにとって本当に正しい答えだと思うのなら。

雄介

……。

詩がカバンから、玩具のピストルを取り出す。

詩

滯に子供がいるかもしれないからって、プレゼント用にクレーンゲームで玩具をゲットしたんだけど。これ、中国製の模造銃なんだって。実弾が撃てるから警察に押収されたってニュース、最近見なかった？

雄介

……。

滯

雄介。何してるの？ 早く行って。

雄介は動かない。

雄介

菜々。しばらく自分の部屋にいてろ。

菜々

えー。ゲームは？

雄介

いいから。

菜々が渋々リビングを出ていく。

詩

じゃあ、ゲーム再開ってことで。

滯

……私は逃げるつもりはありません。だから二人だけで話したい。家族を巻き

込まないで。

詩（声色が少し変わる）

じゃあ、滯、あんたどうすんの？

滯

……。

詩

どうすんのって聞いてるんだけど。

滯

……謝罪します。

一瞬の沈黙。

詩

正解。

滯

……

詩

で、どうやって？

滯

……。

詩

ん？ どうやって謝罪すんの？

滯

……土下座します。

沈黙。

詩

正解。

雄介（たまりかねて）

おい。どういふことなんだ。

滯

……。

雄介

滯。俺にわけを話してくれ。

詩

正解。

雄介が詩を睨みつける。

滯（雄介へ）

…いいから。雄介は菜々のところにいって。

雄介

滯！

滯、観念したように俯く。

滯（ぽつりと）

……イジメてたの。

雄介

え。

滯

……私は……いじめっ子だったの。

詩

正解。

滯

……中学のとき、クラスでイジメがあった……狙われたのは詩……そのときに

イジメっ子たちがやってたのが、詩が今してるゲーム……そのゲームに……私

も加担した。

雄介はショックを受け、呆然とする。

雄介

…で、でも、それはずっと昔のことだろ?! もう十年以上経ってるじゃないか。

詩

イジメは犯罪じゃないから、時効はありません。

雄介

……。

詩（冷たく）

どうすんだよ。

滯が床に膝をつき、土下座をする。

詩

で、それからどうすんの？

滯（伏したまま）

……勘弁してください。

詩

謝罪はわかったよ。それからどうすんだよ。

滯

……どうか勘弁してください。

詩（笑って）

ちがうよ。どうするかって聞いてんだよ。

不安そうな顔で菜々が戻ってくる。

菜々

ママ？

詩（明るく）

ちょうどよかった。今ゲームが盛り上がってきたところだから、菜々ちゃんも

参加しよっか？

滯（思わず顔を上げ）

娘は関係ありません！

詩

じゃ、お前、どうすんだよ。

滯

……出ていってくれるなら、なんでもします。

詩

……なんでもしますじゃわかんないよ。どうすんだよ。

滯

……。

詩

どうすんだよ。

滯

……。

詩

どうするかいえよ。

滯

……。

詩

どうするかって聞いてんだよ！

詩の怒号に、菜々が泣き出す。

菜々の泣き声を聞き、タロウが詩に向かって激しく吠え立てる。

詩

え。なんなの？

詩が玩具のピストルを握りしめる。

興奮したタロウが詩に飛びかかろうとする。

滯（なだめるように）

タロウ！ 落ち着きなさい！

が、タロウが滯を振り切り、詩へ飛びかかる。

滯

タロウ！

詩が玩具のピストルをタロウに向ける。

銃声――

タロウが床に倒れる。

床に血が広がっていく。

詩

……弾を用意してないとも思った？

菜々（悲鳴）

タロウ！

雄介

なんてことをしてくれたんだ！

詩（嘲笑う）

犬一匹くらいでガタガタ騒がないで。こっちはあんたの嫁に人生を奪われたっ  
つうの。

雄介が沈黙する。

菜々の啜り泣きだけが響く。

詩は落ち着いた手つきで、予備の実弾をピストルに込める。

詩

滯はこのあとどうするでしょうか？

沈黙。

詩

誰も答えないなら、ヒントをあげる。

詩が夫婦を見つめる。

詩

ヒントは、お前たちが夜ベッドでいつもやってることだよ。

滯と雄介は言葉を失う。

詩

娘の前でそれをやるんだ。

雄介

……それだけは勘弁してくれ。

滯

詩。お願い……もうやめて……。

詩

じゃあ、どうするんだよ？

滯

……。

雄介、滯を庇うように詩の前に立つ。

雄介

俺は滯の夫だ。俺が滯の代わりにけじめをつける。

詩

けじめ？ どうすんの？

雄介

あんたの気が済むなら、なんでもする。

詩

さっきからそればっか。だからどうすんのって？

雄介

……土下座して……靴でも何でも……舐める……それで帰ってくれるなら……

詩

……正解、でもいいけど。

雄介

……。

詩

その前にどうする？

雄介

……？

詩

犬ころみたいに襲ってこられたんじゃたまらないでしょ。

雄介がタンスを開け、非常用のロープを取り出す。

雄介（漑へ）

手足を結んでくれ。

漑（躊躇し）

……。

雄介

いいから。

滯は震える手で雄介の手足を縛り上げる。

雄介

これでいいか？

雄介は不自由な体で床を這い、詩の足元へいく。

屈辱に耐え、詩が履いているスリッパの裏を必死で舐める。

滯（耐えかねて）

もうやめて！

詩が滯を凝視する。

笑顔は消え、瞳には冷たい炎が宿っている。

詩

……じゃあ、あんた、どうすんの？

滯（叫ぶ）

しかたなかったの！

詩

……。

滯

あのとき、あいつらのいうことを聞かなかったら、ああしなかったら、私もい

じめられたから！

詩

……わかるよ。その気持ちすごくわかる。

滯

……。

詩

辛かったよね。怖かったよね。苦しかったよね。

滯

……。

詩

でもさ、そんなの、私の地獄に比べれば屁みたいなもんじゃん。

滯

……。

## 詩

小学校のときさ、うちら、一生友達でいようって約束したよね？ いつも一緒に遊んでたよね？ 毎日一緒に学校にいて、毎日一緒に帰ったよね？ 他の子と帰ってるの見たら、お互いなんも言わないけど、ちょっとムスッとしてたよね？ 卒業アルバムに親友って書き合ったよね？ 家族ぐるみで親たちに旅行連れてってもらったよね？ 夜、同じ布団で寝て、朝までずっとしゃべってたよね？ クリスマスも一緒だったよね？ 正月明けたら、いつもいちばん最初会ってたよね！

## FLASBUCK.小学生時代の風景

幼い二人の少女が手を繋ぎ、神社で並んでお参りをしている。

## INT. リビング - 夜

## 詩（叫び）

信じてたのに！ 一緒に戦ってくれるって！ どんなことがあっても！ 絶対に裏切らないって！ あんたのこと信じてたのに！

詩の絶叫が響き渡る。

滯は諦めたように息を吐く。

滯

……わかった。

滯がキッチンへ向かい、包丁を握りしめる。

そして詩の前へ戻る。

滯

詩が許してくれるなら……。

雄介

おいっ……。

滯は強い眼差しで詩を見据える。

滯

その前に約束して。娘とあの人には手を出さないと。

菜々（泣き叫び）

ママ！

菜々が滯にすがりつく。

菜々（詩へ）

やだよ！　お願いします！　ママを助けてください！

滯は優しく微笑み、菜々の頭を撫でる。

滯

菜々、ごめんね。ママね、良くないことをしちゃったから、それを償わなきゃいけないの。

菜々

ママ！　やだよ！

滯

菜々。どんなときでも勇気を出して。もし怖くなくても、決して逃げちゃダメ。正しいことをして。

雄介（床で暴れながら、詩へ）

殺したいなら俺を殺せ！

滯

…

雄介

殺せ！ 殺せよ！

滯

……あなた、ごめんね。

滯は包丁を自分に向ける。

滯、目を閉じる。

滯

菜々、雄介……どうかいつまでも幸せで……

その瞬間、菜々が叫びながら詩へ飛びかかっていく。

滯、菜々の声を聞き、菜々を庇うように詩へと向かう。

詩と滯、もみ合いになる。

激しい揉み合いの末、詩の手にあるピストルが暴発する。

乾いた音。

漣がゆっくりと倒れ込む。

菜々

ママ！

雄介

漣！

詩は無言で立ち尽くし、血を流して横たわる漣を見下ろす。

漣（呻く）

詩……これで……よかったんだよね……

漣、やがて意識を失う。

イメージ映像：家庭科室

あの日の家庭科室。

中学時代の、真央、莉子、優花、そして漣と詩。

詩が一同に囲まれ、うつむいている。

真央

このあと、詩はどうするでしょーか？！

優花

はい！ 雑巾を食べる。

真央

……正解。

一同が笑う。

詩はうつむいたまま。

莉子

おら！ 正解シーン見せろよ！

詩は逆らえず、雑巾を口にくわえる。

優花

きたなっ。

漣がその様子を戸惑いながら見ている。

真央

漣。このあと、詩はどうするでしょう？

漣は黙り込む。

莉子

どうした？ 答えなよ。

漣が無言で詩に近づく。

漣は自分のハンカチを取り出し、詩の汚れた顔を拭いてやる。

真央

……不正解。

イメージ映像：公園 - 夕方

制服がボロボロになった滯と詩が、ベンチに座っている。

詩

……滯。ごめんね。

滯、答えない。

滯（あっけらかんと）

このあとうちらはどーするでしょうか？

詩

……？

滯

カラオケにいった思いっきり歌いまくる。

詩が微笑む。

詩

……正解。

二人、顔を見合わせ、笑い合う。

**イメージ映像：高校・教室**

高校生になった漣と詩。

机をくっつけて仲良く弁当を食べている。

**イメージ映像：帰り道**

漣と詩が喧嘩をしている。

**詩**

もう漣なんか大嫌い！

**漣**

詩とは絶交するから！

**イメージ映像：漣の部屋**

落ち込んでいる漣。

スマホに LINE の通知が届く。

**詩からのメッセージ：**

「うちらはこのあとどーするでしょうか？」

漣は少し考え、文字を打つ。

「仲直り」

詩から「正解」のスタンプが返ってくる。

**イメージ映像：結婚式場**

漣と雄介の結婚式。

招待客の詩が、幸せそうな二人を見守っている。

**イメージ映像：結婚式場・ガーデン**

漣がブーケを投げる。

詩がキャッチする。

二人、微笑み合う。

イメージ映像：滯のマンション・玄関

滯が仕事から帰宅する。

愛犬のタロウが出迎える。

女の靴が置かれている。

イメージ映像：同・リビング

滯が入ってくる。

詩と菜々が楽しそうに人形遊びをしている。

菜々

ママ、おかえり！

滯

ただいま。

滯、詩を見て、

滯

詩。子守ありがと。

詩

もう。人使い荒いんだから。

滯

ごめんごめん。

詩

じゃあ、滯、このあとどーすんの？

滯はにやりと笑い、手に提げていたデパ地下の紙袋を掲げる。

滯

私がデパ地下で買ってきたフルーツサンドを三人で食べる。

滯と詩、微笑み合う。

TITLE.「正解ゲーム」

END

